

令和5年度

事業点検・評価実施報告書
(令和4年度実施事業分)

令和5年12月

小値賀町教育委員会

1. はじめに

教育委員会は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」により、毎年その権限に属する事務の管理及び執行状況について自ら点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、講評しなければならないことになっています。

また、この点検・評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見を活用するものとされています。

これを受け、小値賀町教育委員会では、令和4年度に行った事業について自己評価を実施し、効果的な教育行政の推進に役立てるとともに、議会並びに町民に対する説明責任を果たすため、2名の学識経験者のご意見を付して、その結果を報告書としてまとめました。

2. 点検・評価の対象事業

今回実行した点検及び評価の対象は、令和4年度に実施した教育委員会所管事業のうち、小値賀町第4次総合計画及び第3期小値賀町教育振興基本計画に基づき実施した事業の中から、50事業を選定しました。

3. 点検・評価の方法

- (1) 教育委員会事務局による自己点検・自己評価
- (2) 教育委員会による点検・評価
- (3) 学識経験者による評価意見
- (4) 教育委員会による報告書の承認
- (5) 報告書作成

4. 学識経験者の知見の活用

教育委員会が行った点検・評価に関して、客観性を確保し多様な視点からの評価を得るため、教育に関し学識を有する2名の方から、ご意見とご助言をいただきました。

- ・吉元勝信氏（前小値賀町教育長）
- ・山本千明氏（元小値賀町公民館長）

5. 教育委員会の開催状況

小値賀町教育委員会における会議は、毎月1回の定例会のほか、必要がある場合には臨時会を開催することとしています。

令和4年度は、定例会12回を開催しました。

会議名	開催日	主な議題等
第1号 定例会	4月27日	<ul style="list-style-type: none"> ・小値賀町教育委員会運営方針（案）について ・学校閉庁日について ・奨学資金貸与審議会報告 ・小値賀地区小中高一貫教育合同会議報告
第2号 定例会	5月24日	<ul style="list-style-type: none"> ・小値賀町子ども読書活動推進計画策定委員会設置要綱（案）について ・ふるさと留学協議会報告 ・通学路安全対策について ・学校訪問について ・総合教育会議について
第3号 定例会	6月27日	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回図書館運営協議会報告 ・文化財調査委員会報告 ・小中高一貫教育地区推進委員会報告 ・通学路安全推進会議報告 ・歴史民俗資料館運営委員会報告 ・社会教育委員会報告 ・公民館運営審議会報告 ・重要文化的景観保護推進審議会報告 ・総合教育会議について
第4号 定例会	7月25日	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回小値賀町ふるさと留学協議会報告 ・第1回小値賀町学校給食共同調理場運営委員会報告 ・小値賀町立学校働き方改革推進委員会報告 ・北松西高校魅力化推進協議会報告 ・学校閉庁日（大島分校）について ・総合教育会議について

第5号 定例会	8月29日	<ul style="list-style-type: none"> ・北松西高校評議員会報告 ・小中高一貫教育推進本部会議報告 ・総合教育会議について
第6号 定例会	9月29日	<ul style="list-style-type: none"> ・小値賀町教育委員会会議規則の一部改正について ・第1回学校運営協議会報告 ・小値賀町総合教育会議報告 ・北松浦郡民体育大会（野球競技、ソフトテニス競技）について
第7号 定例会	10月27日	<ul style="list-style-type: none"> ・小値賀町教育委員会の権限事務の一部を教育長に委任し、又は臨時に代理させる規則の一部改正案について ・小値賀町教育委員会公告式規則の一部改正案について ・第2回通学路安全推進会議報告 ・第2回学校運営協議会報告 ・小値賀町部活動地域移行検討委員会設置要綱案について
第8号 定例会	11月25日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度（令和3年度実施分）教育委員会事業点検・評価実施報告について ・第2回図書館運営協議会報告 ・第3回小値賀町ふるさと留学協議会報告 ・第40回少年の主張発表大会について
第9号 定例会	12月22日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度（令和3年度実施分）教育委員会事業点検・評価実施報告書について ・放課後子ども教室運営委員会報告 ・第3回学校運営協議会報告 ・第2回文化的景観保護推進審議会報告 ・教育支援委員会報告 ・小中高一貫教育合同会議（第3回）報告 ・小中学校ICTリプレイスに伴うタブレット等導入について
第10号 定例会	1月26日	<ul style="list-style-type: none"> ・小値賀町教育委員会公告式規則の一部改正案について ・第4回ふるさと留学協議会報告 ・令和4年度学校評価結果の報告について ・中学校模擬議会について ・令和5年成人式～二十歳の集い～について

第11号 定例会	2月24日	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館設置条例の一部を改正する条例（案）について ・小値賀町通学路安全推進会議設置要綱の一部改正（案）について ・小値賀地区小中高一貫教育地区推進委員会設置要綱（案）について ・コロナ禍における商家尼忠東店及び総合体育館（トレーニング室）の利用制限について ・第5回ふるさと留学協議会報告 ・第4回学校運営協議会報告 ・令和5年度当初予算について ・令和5年度教職員の人事異動案について
第12号 定例会	3月23日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度小値賀町会計年度任用職員の任用について ・令和5年度小値賀町教育委員会所管の各種委員の委嘱について ・小値賀町立学校における働き方改革第2期アクションプランについて ・令和5年度教育委員会運営方針について ・第2回小中高一貫教育地区推進委員会報告 ・第2回北松西高校魅力化推進協議会報告 ・第2回小値賀町学校給食共同調理場運営委員会報告 ・第2回小値賀町立学校働き方改革推進委員会報告 ・第1回部活動地域移行検討会報告 ・第6回ふるさと留学協議会報告 ・第2回放課後子ども教室運営委員会報告 ・令和5年度小学校教科書採択協議会 教育委員の推薦について

6. 教育委員会委員の活動状況

(1) 教育委員の研修

会 議 名	開催日	場 所	研 修 内 容
令和4年度県市町教育委員会連絡協議会総会&合同研修会	5/30	離島開発総合センター 会議室（WEB）	
教育長・教育委員研究会	9/8	離島開発総合センター 会議室（WEB）	

(2) 学校訪問

実施日	実施校	内 容
令和4年6月14日	小値賀小学校	学校経営方針、授業視察、意見交換会
令和4年6月30日	小値賀中学校	学校経営方針、授業視察、意見交換会

7. 教育委員会の会議以外の活動状況及び各種委員会

開催日	主な活動	内容
4月1日	学校教職員・教育委員会事務局職員 辞令交付式	異動辞令発令（教育長より）
4月6日	小中学校始業式・着任式	
4月7日	入学式	小学校、中学校、大島分校
4月8日	北松西高校入学式（縮小型）	コロナ禍のため欠席
4月9日	こども園入園式	欠席
4月12日	校長教頭合同研修会	
4月19日	奨学資金貸付審議委員会	審議3件、運用状況
4月20日	県市町教育委員会連絡運営協議会理事会	
4月22日	第1回小中高一貫教育合同会議	事業内容、方向性について
5月19日	第1回ふるさと留学協議会	R4事業スケジュールほか
5月23日	第1回図書館運営委員会	利用状況、R4事業計画ほか
5月27日	表彰状伝達式（吉元氏、田口氏）	全国市町村教育委員会連合会表彰
5月29日	小値賀小学校運動会	
6月1日	第1回小中高一貫教育小値賀地区推進委員会	R4事業計画、意見交換
6月2日	第1回通学路安全推進会議	合同点検ほか
6月7日	歴史民俗資料館運営協議会	役員選任、コロナによる運営他
6月10日	表彰状伝達式（谷元氏）	長崎県「子ども・若者応援団」表彰
6月17日	公民館運営審議会	R4事業計画、地区別研修会ほか

開催日	主な活動	内容
6月20日	第1回文化的景観保護推進審議会	会長選任、保存修理事業スケジュールほか
6月22日	第2回ふるさと留学協議会	受け入れ状況、スタッフ体制ほか
6月27日	北大東村視察 6/27-28	文化財ほか
6月30日	文化庁調査官現地指導	野崎
7月8日	社会人権・同和教育地区別研修会	講師：県人権・同和対策課 森山氏
7月13日	第1回学校給食共同調理場運営委員会	役員選出、会計報告・運営状況
7月14日	第1回学校働き方改革推進委員会	アクションプランの検証
7月15日	第1回高校魅力化推進協議会	R4 事業計画ほか
7月21日	第2回小中高一貫教育合同会議	各部会状況報告、意見交換
7月31日	小西邸利活用検討委員会	
8月2日	小中高一貫教育推進本部会議	各地区の取組み、情報交換
8月18日	町民レクレーションプログラム検討会	8/19 町長報告 中止決定
8月31日	第1回学校運営協議会	役員選任、学校経営方針説明
9月4日	中高合同体育祭	
9月7日	教育総合会議	
10月3日	教育委員辞令交付	浦委員
10月7日	第2回通学路安全推進会議	点検結果報告、意見交換
10月10日	小西邸利活用検討委員会	改修内容検討
10月13日	町内校長・教頭・園長合同研修会	部会報告、意見交換
10月20日	第2回学校運営協議会	授業見学ほか
10月24日	第2回図書館運営協議会	利用状況、R5 事業について
11月4日	第3回ふるさと留学協議会	R5 希望者一次審査ほか
11月12日	少年の主張発表大会	8名発表
11月22日	放課後子ども教室運営委員会	現状報告、R5 事業計画
11月24日	第3回小中高一貫教育合同会議	地域探求について

開催日	主な活動	内容
12月6日	第3回学校運営協議会	R4 各学校評価、R5 事業計画
12月9日	第2回文化的景観保護推進審議会	野首教会周辺無電柱化ほか
12月19日	小値賀中学校模擬議会	
12月21日	教育支援委員会	特別支援学級の現状
12月26日	第4回ふるさと留学協議会	R5 希望者二次審査ほか
1月3日	令和4年度成人式～二十歳の集い～	21名出席
1月20日	第5回ふるさと留学協議会	近況報告、継続審査
2月9日	第4回学校運営協議会	R4 評価、支援体制の構築
2月10日	第4回小中高一貫教育合同会議	視察報告、R5 計画
2月14日	特別支援教育コーディネーター連絡協議会代表者会議	事業報告、R5 事業計画
2月20日	第2回小中高一貫教育小値賀地区推進委員会	活動報告、R5 方向性について
2月20日	歯科保健推進協議会	事業報告、健診について
2月27日	第2回高校魅力化推進協議会	事業報告、R5 事業計画
3月1日	北松西高校卒業式	
3月2日	第2回学校給食共同調理場運営委員会	運営状況、公会計化
3月6日	第2回学校働き方改革推進委員会	アクションプランについて
3月7日	第1回部活動地域移行検討会	現状説明、スケジュール
3月13日	第6回ふるさと留学協議会	今後について、役員選任
3月13日	第2回放課後子ども教室運営委員会	R5 事業計画
3月14日	中学校卒業式	卒業生15名
3月15日	小学校卒業式、大島分校お別れ式	本校卒業生17名 大島分校卒業生2名
3月17日	ふるさと留学（しま親型）終了式	1名
3月18日	少年少女合唱団終了式	
3月24日	ふるさと留学（入寮型）終了式	3名

主要施策事務の点検と評価

評価基準	A：十分達成 B：ある程度達成 C：達成が不十分
------	--------------------------

8. 点検・評価対象事業一覧 赤字：事務局回答分

教育委員会会議等の点検・評価

(1) 教育委員会 *外部評価は、2名による評価実施のため二つの評価値となっています。

項目	小項目	自己評価	外部評価	当該年度の事業実施状況	今後の方向性
教育委員会の役割 個票該当番号 No.2	各種方針の策定 令和5年度重点計画 生涯学習計画 公民館活動計画 研究課題設置 小中一貫教育制度 離島留学制度	A	B A	継続実施	継続
総合教育会議	会議の開催 1回	B	B B	年1回実施	年1回以上開催
教育委員会会議運営	会議の開催回数 ・定例会 12回	A	B A	毎月1回の定例会開催	継続
教育委員会会議の透明性 個票該当番号 No.1	公開性 ・会議の傍聴 ・議事録の閲覧 ・議事録のHP掲載	A	A A	・議事録のホームページ公開開始 ・会議傍聴PR開始	継続
委員の自己研鑽	研修会等参加 教育新聞の購読	B	B B	研修会等参加 ・研修会 2回 ・学校訪問 2回	継続

【委員からの意見】

・(生涯学習計画・公民館活動計画) 計画は出来ているのか。毎年策定しているのか。あるのであれば「A」にしたい。

→生涯学習計画、公民館活動計画は毎年策定しているが、担当職員のマネジメント不足で実行が不十分ですので改善していきます。

・高校問題等、町民ともっと協議が必要ではないかと感じます。

→検討いたします。

・(定例教育委員会の) 報告や審議事項の区分があいまいになっている様に感じます。

→報告事項、審議事項を明確にしていきたいと思います。

(2) 学校教育の充実

主要施策	小項目	自己評価	外部評価	当該年度の事業実施状況	今後の方向性
1. 確かな学力の育成 個票該当番号 No.9、10、 13～16、 19、22	児童生徒の学力向上	B	B B	N I Eの実施 帯タイムの充実 小中高全体での授業研究	標準学力調査などを実施し、授業改善につなげます。
	情報教育の推進	B	B B	令和4年度から一人一台端末をChromebookにリプレースして、AIドリルを新たに導入するなど、個別最適な学びに取り組んだ。	児童生徒の学力向上につながるアプリの導入や、デジタル教科書の導入に取り組みます。
	グローバル化に対応した教育の推進	C	B -	A L T不在の状況が英語の授業にも影響した。	A L Tとは別に、島に住む外国人に協力してもらい英会話魅力アップ事業に取り組めます。
	キャリア教育・職業教育の推進	B	B B	キャリア教育の一つとして、新たに民泊体験を実施。	中学生に対しての島の職業紹介を実施します。
	特別支援教育の推進	A	A A	特別支援員、小学校2名、中学校1名を配置した。	特別支援員のスキルアップのため、各種研修に参加します。
2. 豊かな心と健やかな体の育	ふるさと教育(郷土学習)の推進	A	A A	学芸員による郷土学習を実施した。	こども園、小中高を通じた郷土

成 個票該当番号 No.13、22、 26、27					学習の継続を行います。
	子ども読書活動の推進	B	B B	学校図書館と連携した読書活動推進を実施した。	子ども読書活動推進計画を新たに策定し、推進を図ります。
	道徳教育の推進	B	B B	心の教育講演会などを通して、他者とのコミュニケーションに必要な心の働きを学んだ。	コーチング研修を通して、「育てる」よりも「育つ」力を身に付けていきます。
	人権教育の推進	B	B B	小中高一貫教育における異学年との交流を通じて他者を思いやる力を身に付けた。	引き続き小中高一貫教育のキャリア教育のとして道徳教育に力を入れます。
	学校完全給食と食育推進	A	B A	一部弁当の日があったものの、調理員も確保でき、給食が実施できた。	調理員の確保を行い、年間を通して安定した学校給食を提供します。
	体力の向上と学校体育の推進	B	B B	全国体力運動能力テストにおける分析による柔軟性を重点に取り組む。	引き続き体力運動能力テストの結果を元に子ども達の運動能力改善に取り組めます。
	健康教育の推進	B	B B	早寝早起き朝ごはんの生活リズムを意識させるように取り組んだ。	学校給食で肉や野菜、魚などバランスよく摂取させることで、健康的な体を作り上げていきます。

<p>3. 小中高一貫教育の充実と幼小中高一貫教育の連携</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>個票該当番号 No.6、9、 10、19</p> </div>	小中高一貫教育の充実	B	B B	総合的な学習の時間に「地域探究」を柱として取り組んだ。	小中高一貫教育の取組みをビデオなどで町民に紹介することで、地域総ぐるみの取組みにしていけます。
	幼児教育と小学校の連携	C	C -	こども園、小中高の代表者会における情報共有。	架け橋プログラムの実践により、義務教育前から主体的で対話的で深い学びづくりに繋げていきます。
<p>4. 教育環境の整備</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>個票該当番号 No.3～5、7～ 12、19～2 1、24、28</p> </div>	生徒指導・教育相談体制の充実	B	B B	SC・SSWなどによる安定的な相談体制の確立。	継続してSC・SSWに入ってもらうほか、学校相談員の研修会参加等によるスキルアップも実施します。
	コミュニティ・スクールの推進	C	C B	継続実施 老人会の見守りを始め様々な取り組みの実施について、地域コーディネーターの方々に大いにご尽力いただいた。しかし、地域協働推進本部や人材サポーター制度が議題になるものの未だ形になっておらず年数がたっているため、自己評価は「C」判定とする。	学校運営協議で議論を活発化し、人材サポーター制度等の人材活用を図っていきます。

	教職員の多忙化解消の推進	B	B B	年2回の働き方改革推進会議において、対応可能なところを一つずつ改善した。	中学校の部活動地域移行により土日、祝日の練習や遠征の時間を大幅に削減していきます。
	子どもの安全確保対策の推進	B	B B	老人会の通学路の見守りなどによる安全確保。	関係機関による通学路一斉点検による早期発見、早期対応による通学路の安全確保を行います。
	安全で快適な学校施設の整備	B	B B	全ての教室において冷暖房管理、WIFI環境の整備対応済。	遊具等の老朽化が進んできたため、取替えを今後検討します。
	北松西高等学校の魅力化推進	C	C -	ふるさと留学や高校魅力化を進めてきたが、直接的な高校生の増加には繋がっていない。	高校生を対象としたふるさと留学や、小値賀独自のカリキュラムを立ち上げることでの魅力化を検討します。

【委員からの意見】

- ・CS（コミュニティスクール）の十分な活用が遅れている様です。
→学校運営協議会での議論を活発化し、活用を図っていきます。
- ・学校完全給食は完全に実施されているか。弁当併用などではないか。
→弁当の日を設けています。引き続き調理員の確保に努め、完全給食に努めます。
- ・（小中高一貫教育は）各学校の統一性が無いように感じます。コロナ禍で教職員の交流会がなかったのが大きな要因ですので気持ちを一本化する方法を検討してみたいかですか。
→事業の充実を図りながら、校種間の統一性を目指します。

（3）社会教育・社会体育の充実

主要施策	小	項	目	自己	外部	当該年度の	今後の方向性
------	---	---	---	----	----	-------	--------

		評価	評価	事業実施状況	
1. 生涯学習活動の充実 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 個票該当番号 No.29、 32～36、 41～44、 60 </div>	自主生涯学習活動団体の助長と指導	B	B B	婦人連絡協議会へ活動費補助金を交付すると共に、総会・理事会へ参加し助言等を行った。	婦人連絡協議会・青健会・町P連へ活動費補助金を交付すると共に、各会議へ参加し必要に応じて助言等を行います。
	社会教育分野の人的資源の確保及び社会教育の活性化	B	B B	社会教育主事の有資格者は3名（増減なし）。	若手職員の資格取得を進めます。
	町内文化サークル活動の支援	B	B B	各団体の総合センター利用を無料で行っている。	引き続き支援を行っていきます。
	町文化連盟の支援	B	B B	小値賀町文化連盟活動費補助金を交付、また小値賀町民文化祭を共催した。	引き続き支援を行っていきます。
	地区住民センター等の整備支援	C	C -	大島公民館の雨戸等改修工事補助を行った。一方で浜津住民センターの防水工事は未実施。	地区公民館及び住民センターについては今後も補助金による整備支援を行っていきます。
	町立図書館の充実	B	B B	図書資料購入を行い、充実を図った。	今後も町民の学びの拠点として、資料の充実を図っていきます。
2. おちかっ子の健全育成	おちかっ子像の策定	B	B B	「ふるさとを誇りに心豊かにたくましく小値賀大好き！すつてくろ」を学校運営協議会で定めて	「おちかっ子」像に則り事業を実施していきます。

個票該当番号 No.30、31、 33、 36～40				いる。	
	地域と連携した青少年の健全育成活動の充実	B	B B	青健会主催「青少年スポーツ大会」を2年ぶりに実施した。	時期や内容を検討しつつ今後も実施します。
	体験活動の充実	B	B B	「青少年教育キャンプ」「しまのリーダーチャレンジ事業」「おぢか山学校」「民泊体験」を実施。	継続して実施するが、内容については適時見直しを行っていきます。
	家庭教育支援の推進	B	C B	5月に「家庭の日・子どもの日わくわくウォークラリー」を実施した。	令和5年度から「子育て講演会」「ながさきファミリープログラム」等を実施し家庭教育活動を強化します。
3. 高齢者の生きがいがづくり	高齢者の生きがいがづくり	C	C -	高齢者学級「熟年大学」を4回実施したが、計画どおり行かなかった。	高齢者の学習意欲充実のため継続実施します。
個票該当番号 No.33、34、 42、49	声掛け・声聞き運動の推進	C	C C	地域コーディネーターの助力で、10月から老人クラブの協力により見守り活動を実施して頂いたが、その後の働きかけが出来なかった。	引き続き協力をお願いし、頻度を増やして頂けるよう働きかけていきます。
	高齢者の登用	C	C	高齢者の積極的な登用（シルバー人材バンクの整備等）は出来ていない。	コミュニティスクールの学校サポーターと合わせて整備していきます。
	健康寿命延伸の軽スポーツの普及	B	B B	10月を「スポーツ月間」に設定し、運動能力調査やウォーキ	引き続き10月を「スポーツ月間」に設定する

				ングを実施した。	と共に、健康管理センター等の他団体と連携して、事業を実施します。
4. 社会体育活動の推進と普及 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 個票該当番号 No.28、 42～48 </div>	総合運動公園の再整備	C	C -	総合体育館の「耐力度調査」「耐震化調査」「屋根詳細調査」を実施したが、整備の方向性までは至らなかった。	個別施設計画との整合性を取りながら、整備を進めます。
	生涯スポーツ団体の育成 高齢者健康維持のための 軽スポーツの指導普及	B	B B	令和4年度は「学童野球部」「大島陸上クラブ」へ補助金を交付した。	令和5年度は「体育協会」「学童野球部」へ補助金を交付します。
	おぢかスポーツクラブの 加入促進と拡充	C	C C	令和4年度におぢかスポーツクラブを仕切り直し、「バドミントン」「卓球」の2団体加盟からリスタートした。	継続して加盟団体増加を目指します。
	小中高部活動とおぢかスポーツクラブとの連携強化	C	C C	令和5年3月に第1回小値賀町中学校部活動地域移行検討会を実施した。	R6からの休日部活動の地域移行に向け、検討会で協議を行います。

【委員からの意見】

- ・(社会教育・社会体育の充実は)行政主導で町民の理解度が低いと感じます。
→住民参加と理解が得られるよう取り組みます。また町民主体の活動への支援もできるよう取り組みます。

(4) 文化の振興と継承

項 目	小 項 目	自己 評価	外部 評価	当該年度の 事業実施状況	今後の方向性
-----	-------	----------	----------	-----------------	--------

世界文化遺産の 保存・活用 個票該当番号 No.56～59	包括的保存管理計画に基づき資産の適切な保護及び経過観察の実施	A	A A	・遺産保護を目的としたボランティア活動1回 ・経過観察及び定期報告1回/年	引き続き、継続して実施します。
文化財及び重要 文化的景観の保 存・活用 個票該当番号 No.50～55	町文化財の整備	A	A A	・町指定有形文化財（美術工芸品）修復事業1件	指定物件のなかには、き損が発生している案件がありますので、適切な管理に関する指導・助言を行います。
	歴民の修復計画の策定と収蔵庫の整理	B	B B	・収蔵資料の再整理を継続して実施している	引き続き、継続して実施します。
	町文化的景観整備活用計画の改訂と整備・活用	B	B B	・計画の改訂については未着 ・旧小西家住宅、旧野首教会保存修理に向けた実施設計を実施した。	R5年度には計画改定の資料となる、空家実態調査に着手しています。計画改定に向けて準備を進めます。
芸能と民俗行事 の保存・伝承 個票該当番号 No.50、51、 59	伝統芸能・民俗行事の保存・伝承	B	B B	・保存状況について調査を実施した。	現状把握調査を実施し、伝統継承の場として上演会などを検討します。
	無形文化財や民俗文化財の調査・研究と文化財指定化の推進	B	B B	・保存状況について調査を実施した。	引き続き、継続して実施します。
	郷土誌(第3次)の発行	C	C C	・未着の状況である。	必要性はあるものの、着手は見送っている状況です。

【委員からの意見】

- ・（文化の振興と継承は）観光と連携させると、町民の関心もあがるのではないですか。
→令和4年度より原則月に1回、観光部局と情報共有の場を持ち連携を進めています。
- ・（世界文化遺産の保存・活用は）十分な効果が表れていないように思います。官民が連携した体制づくりと具体的な方向性を示すことも重要と感じます。

→令和4年度より原則月に1回、観光部局と情報共有の場を持ち連携を進めています。
令和4年度よりボランティアによる世界遺産保護活動「野崎島レスキュー隊」や、世界遺産ガイド育成事業である「世界遺産マイスター」などの事業を開始しています。

- ・(町指定有形文化財は) 毎年計画的に実施されているのですか。

→調査は必要に応じて実施しており、令和3年度からは仏像調査に着手しています。

町指定文化財への指定については調査成果が整理できたものから順次行っていきますが、現状における、候補物件としては長寿寺所蔵の十一面観音坐像があります。

- ・(伝統芸能・民族行事の保存・伝承は) コロナ禍の影響で減少傾向なのか。

→コロナウイルス感染症拡大が直接的な要因とはいえませんが、大唄は上演の機会となっていた、成人式などのイベントが自粛傾向にあります。

六斎念仏は担い手の高齢化によって消滅の危機にあるといっても過言ではありません。

9. 外部評価委員の意見

【意見①】

令和4年度もコロナ禍の中で、各分野においても各種制限等が継続した大変な1年であったかと思います。そのような条件下でも一部事業を除いて概ね計画どおりの事業が実施されていると評価しますが、対応が持ち越しになったものや、新たな課題等が山積しており、急を要するものも散見されます。

各項目の懸念事項と意見は次のとおりです。

(1) 学校教育の充実について

学校教育については「小中高一貫教育」、「ふるさと留学」、「北松西高魅力化事業」を柱としながら進められていますが、その中でも核となる小中高一貫教育が十分な効果に繋がっていないと思われます。各学校間の教職員の連携を密にしながら情報交換と対応策の強化を図って欲しいと思います。また、義務教育学校についても早急に具体的な研究に取り組む時期にあるのではないかと感じます。

また、登校しぶりや不登校対策についても、町も積極的に取り組む必要があります。

→令和5年度から「地域探究」を柱として、小中高一貫教育の目的を、教職員及び教育委員会事務局で共有を図りました。今後も小中高一貫教育合同会議や各専門部会での対話を通して、より一層の連携を深められるように取り組んでいきたいと思っています。また、令和5年度は小中高一貫教育の先進校である大阪府の能勢町からご来島いただき講演をいただき、全体での共有や研究に取り組んでいるところです。不登校対策、登校しぶりについても、令和5年1月から実施している「おちかっ子ミーティング」等を通して早期発見、早期対応に繋げていきます。

(2) 教育委員会について

高校存続のための小中高一貫教育制度は、国の教育制度改革の中で従来の対応が難しくなり、大きな転換期を迎えている感じがします。本町の特徴を考えると義務教育学校と高校の連携という新しい型を早急に検討することも重要ではないかと考えます。県と連携しながら、効果に結びつく制度への改革を進めたいかがでしょうか。

また、離島留学制度については、少人数化する学校対策としての成果に繋がっている部分もありますが、本来の目的の高校へのつながりの実績があがっていない様です。高校魅力化を進めて高校留学に繋がる研究を町民と早急に進めていく必要があると思います。そのためにも総合教育会議を増やしていったらどうでしょうか。

→ふるさと留学については、令和元年度から現在5年目となり、これまで11名の留学生在が来島していますが、ご指摘のとおり直接的な北松西高校生徒数の維持には繋がっていません。令和6年度からは高校生をターゲットとした「地域みらい留学」への参画や、北松西高校との連携強化、情報発信強化などに取り組み、島唯一の高校存続に繋げていきます。

(3) 社会教育について

この分野は自己評価で「C」が一番多い分野となっています。理解しながらもなかなか進まないという状況ではないかと感じます。その大きな要因としては中長期的な視野に立った具体的な計画、構想が策定できていないためと思われます。町民が生き生きと活力を持ちながら暮らすのは社会教育の充実が大きいと考えますので、早急な取り組みをお願いします。

→年度当初の社会教育委員会や公民館運営審議会等で年間計画を策定するものの、担当職員のマネジメント不足で計画通りに進められていないのが現状です。事業の必要性と時代に合わせたニーズについて改めて見つめ直し、町民の生涯学習意欲を大いに促進できるよう社会教育の充実に取り組んでいきます。

(4) 文化の振興について

世界文化遺産は、コロナ禍の中で思うような成果に繋がっていない様ですので官・民が連携して十分な活用に繋げることを望んでいます。観光振興計画策定が予定されている様ですので、他の文化財等の活用も含めて教委の積極的な対応が必要と思われます。

一方、コロナ禍を起因とした地域活動が縮小、中止という方向に舵取りがされ始めているところが見られます。文化や慣習等の伝承が小値賀らしさを維持していくことに繋がると思いますので、社会教育部署とも連携した対策が望まれます。

少ない職員で広い分野の教育行政を担っていくのは大変だと思いますが、全体のスキルアップのための対策を取りながら課題について確実に対応することが町民の幸福に繋がると考えられます。教委全体が目標をしっかりと設定しながら、地域と一緒にあった活気ある取り組みを祈っています。

→令和4年度より原則月に1回、観光部局と情報共有の場を持ち連携を進めています。

(再掲)

観光振興計画については令和6年度中の策定予定とのことですので、産業振興課と情報共有を図るよう努めます。

文化慣習等の伝承が地域の特色の維持に大きく関わる点は文化財保護部局としても同感です。社会教育部局とは情報の共有は図れていますが、連携事業に乏しいのが現状の課題です。課題の解決に向けて両者間での協議の場を設けます。

【意見②】

1. 点検・評価一覧の(2)学校教育の充実及び(3)社会教育・社会体育の充実のところにおいて、当該年度の事業実施状況が「継続実施」で同じであるにも関わらず自己評価が「ABC」に分かれている項目があります。なぜAなのか、なぜCなのか根拠があいまいだと思います。これでは、議会の方々にも町民の皆様にも理解が得られないのではないのでしょうか。

少なくとも、(4)文化の振興と継承の項目のような実施状況のコメントのようなものが必要かと思います。よって、自己評価のCの項目を空欄とさせていただきました。

→自己評価根拠の明確化を図っていくよう対処します。

2. 高齢者向けの事業は、特にスピード感をもって取り組まなければならないと思います。ところが、コロナ禍の影響もあって高齢者向けの事業が下火となり、熟年大学の回数が減り、結果として登録者数も減少しています。今年度は未だに開校すらなされていません。お年寄りの方々の要望は、たくさんお聞きします。自己評価をCにして終わらせるのではなく、その自覚で早急に、速度をあげて取り組んでいただきたいと思います。

→各種事業の実施にあたり、必要性を改めて認識し、計画的かつスピード感をもって取り組むよう改善いたします。

3. 小値賀町が持続可能な自治体として続いていくためには、子どもを増やさないと根本的な解決にならないと思います。そのためには「子育てにやさしい街づくり」が必要です。子育て世代が、安心して子どもを産み育てられるような環境づくりに繋がる施策・事

業を打ち出してほしいと思います。修学旅行費補助などは、すぐにでも取り組めるのではないのでしょうか。

→子育てに関する施策は大変重要でありますので、次期小値賀町総合計画の内容に沿った各種事業を関係部署と連携して取り組んでまいります。

4. 最後にコミュニティ・スクールの項目の自己評価には、失望と異論があります。昨年度、小中学校より十数項目の要望があり、不肖ながらも私が地域コーディネーターとして各方面に働きかけて調整してまいりました。なかでも、連合老人会が月に一度、見守り隊として通学路に立つようになったことは大きな成果だったと思います。昨年度は、学校と地域が子どものために手を結び、連携のために動き出した大事な節目の年だったと思います。よってBがふさわしいのではないかと思います。

→老人会の見守りを始め様々な取り組みの実施について、地域コーディネーターの方々には大いにご尽力いただきました。ただ事務局としては、地域協働推進本部や人材サポーター制度が議題になるものの未だ形になっておらず年数がたっているため、そこに重点をおいての自己判定「C」とさせていただきます。引き続き学校教職員や地域住民の皆様方と一緒に子どもたちの学びを支えていきたいと考えております。

10. おわりに

小値賀町教育委員会では、効率的な教育行政運営を資することを目的に令和4年度実施した事業を点検し、評価を行いました。

事業の目的、必要性等、その取り組みや成果を分析・検討して今後の事業の方向性について取りまとめました。事業評価のあたっては学識経験者2名による豊富な知識・経験のもと客観的な立場からの各事業へのご指摘をはじめ、地域の実態に照らし合わせた事業展開の必要性など、貴重なご意見やご助言をいただきました。

この評価報告書につきましては小値賀町議会に提出するとともに町民の皆様に公表することで、教育委員会の取り組みを広く理解していただきながら、町民皆様の教育行政への参加を促し、効果的な教育行政の運営を図ることを考えております。

今後とも「すすんで学び、ともに伸びゆく心豊かな教育の町」を目指して、努力してまいりますので、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

1 1. 小値賀町教育関連基本施策の体系

小値賀町教育振興基本計画体系図

